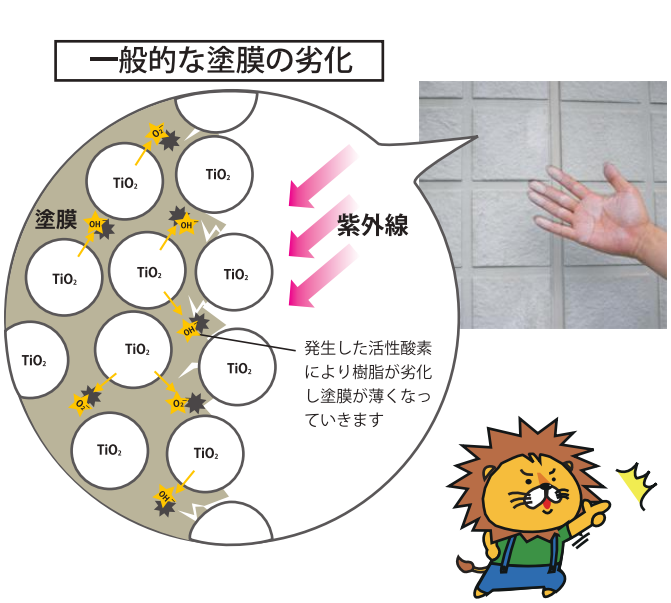
ALQUA SILICON

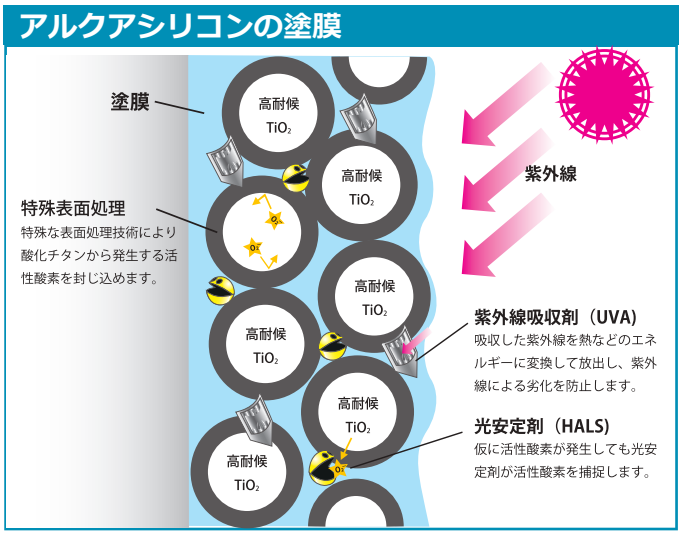
アルクアシリコン

性能とコストパフォーマンスのバランスを追い求めて誕生した塗料。

新開発の高耐候酸化チタンと紫外線吸収剤、光安定剤の組み合わせにより高耐候性を実現。

新開発の酸化チタンと紫外線吸収剤（ＵＶＡ）、光安定剤（ＨＡＬＳ）の組み合わせにより、今までのアクリルシリコン塗料に比べ、紫外線に対する高い耐久性を有しています。





標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗装回数	標準使用量（kg/㎡）	乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
下地調整	砂、ゴミ、浮いた塗膜などの付着物は高圧洗浄で入念に除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	エポノックスマイルドプライマー	1	0.12～0.14	6時間以上 7日以内	ペイントシンナーA	0～10	ハケ、ウールローラー
上塗り	アルクアシリコン	2	0.12～0.14	2時間以上	清　水	0～10	ハケ、ウールローラー

●上記の数字はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件、下地状況により多少の幅を生じることがあります。

製品体系

塗料名	容量	色相	つや	塗り面積/缶当り(16kg) / 1工程
アルクアシリコン	16kg、4kg	各色	つや有り	114～133㎡

カナエ塗料株式会社　*http://www.kanaepaint.co.jp/*

概　要

主用途	建築物内外装
適用下地	コンクリート、モルタル、スレート板、窯業系サイディングボード、ALCパネルなど
主要組成	アクリルシリコン系
荷姿	16kg、4kg
色	白、原色、各色
仕上がり	つや有り
塗装器具	はけ、ウールローラー、エアスプレー
希釈剤（希釈率）	清水（はけ、ローラー０～10%）（エアスプレー10～20%）
間隔時間（２３℃）	工程内２時間以上、最終養生24時間以上
ホルムアルデヒド放散等級	該当せず
JIS規格	該当せず　JIS A 6909複層塗材　耐候形１種相当品（社内試験による）
防火認定	該当せず
消防法表示	非危険物
適合下塗材	エポノックスマリンシーラー、エポノックスマイルドプライマー、アルクアサーフェーサー

施工上の注意事項

①蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、 ALC、 窯業サイディング、 発砲ウレタン使用建材など）を使用した外壁で旧塗膜が弾性塗材の場合、 すでに旧塗膜に膨れが発生している場合、 そのまま 塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。

②鉄部に直接塗装はできません。 最寄りの営業所にご相談ください。

③過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、 規定の希釈量をまもってください。

④防藻・防かび効果は、 繁殖を抑制するものです。 すでに繁殖している場合は、 下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。

⑤被塗装物の構造、 部位、 環境条件などの影響で、 本来の低汚染機能が発現されない場合があります。

⑥絶えず結露が発生するような場所での使用は避けてください。 著しい結露が予測される場合は、 塗装を避けるか、 溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。

⑦塗装後、乾燥不十分な状態で降雨、結露などがある場合や、低温、高湿度の場合には、膨れ、剥離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、 塗装を避けてください。 やむを得ず塗装する場合は、 強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。

⑧シーリングの上に、 劣化、 ひび割れなどの損傷がある場合は、 打ち直しをしてください。

⑨塗装場所の気温が5℃未満、 もしくは湿度 85%以上である場合、 または換気が十分なく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。

⑩屋外の塗装で降雨、 降雪のおそれがある場合、 および強風時は塗装を避けてください。

⑪塗装時および塗料の取り扱い時は、 換気を十分に行い、 火気厳禁にしてください。

⑫飛散防止のため必ず養生を行ってください。

⑬ローラー塗りの場合、 ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。 ローラー目により、 色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。

⑭汚れ、キズなどにより補修塗りが必要な場合は、塗料ロット、希釈率、補修方法などの塗装条件を同一にしてください。

⑮塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。

⑯開封後は一度に使い切ってください。 やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、 速やかに使い切ってください。

⑰塗料漏洩の原因になりますので、 保管、 運搬時に容器を横倒しにしないでください。

■製品の安全に関する詳細な内容については、 安全データシート（SDS）をご参照ください。